

教育システム若手の会 NagoNago2001

トヨタ車体株式会社 生活環境事業部

事業企画室 担当員 林伸幸

事業企画テーマ

「自己実現サポートシステム」の構築と事業化

事業企画の概要

自己実現サポートシステムとは、ユーザーの「将来やりたいこと」や「なりたいもの」のビジョンをユーザー自らに意識させ、目標の具体像を描きながらその実現をサポートするシステム（＝目的志向型学習システム）である。このシステムを構築することにより

主に自分の将来についてビジョンが描けずいたり、なぜ学習するのか目的を見つけられなかったりしている中高生をターゲットとした事業を創造する。

目的志向型学習システムの概要

当該システムは2つのシステムから成り、おもに通信ネットワークにより提供される。

第1のシステムは学習者からの将来の希望・志向・適性・学習到達度等情報の入力から、それに合致するようなさまざまな将来像と実現のための学習範囲・適性を判断するとともに最適な学習カリキュラムを提示する。

第2のシステムは選択されたカリキュラムに基づき、学習者が自己学習をして、その結果を評価・蓄積する。

第1と第2のシステムは随時自由に行き来できるので、学習者は学習の進度や気持ちの変化によりさまざまな将来の希望の実現可能性を試行錯誤しながら試すことができる。

10年後の教室を想像して

学習者はその目的や進捗度に応じた学習をするようになる。

そして、それに対してさまざまな手段が提供される。つまり、リアルとネットのそれぞれの特色を生かした教育体制となる。

知識の習得は主に提案しているような目的志向型の学習システムによる自己学習の形態をとる。時間を定めて学校で行なってもいいし、自宅などで行なってもいい。

学校は直接体験や共同生活の場として役割が明確化される。教師は知識の伝達者ではなく、その地域地域でしか体験できないような実践活動への参加をコーディネートしたり、メンタリングやコーチングスタッフとして学習者のコミュニケーションを手助けしたりモチベーションを維持向上したりする。